

## 乳腺外科に通院中の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] International Retrospective Cohort Study of Locoregional and Systemic Therapy in Oligometastatic Breast Cancer  
希少転移乳癌の局所及び全身療法に関する国際共同後向きコホート研究

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 山下 啓子（乳腺外科・教授）

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

FACO（アジア臨床腫瘍学会機構）

井本 滋・杏林大学医学部附属病院 乳腺外科・教授

[共同研究グループ・研究責任者名]

アジア臨床腫瘍機構 Federation of Asian Clinical Oncology (FACO ; グループ長, 西山正彦)

Korean Association for Clinical Oncology (KACO ; グループ長, Young Hyuck Im )

Chinese Society of Clinical Oncology (CSCO ; グループ長, Jin Li)

日本癌治療学会 Japan Society of Clinical Oncology (JSCO ; グループ長, 北川 雄光)

[研究の目的]

希少転移乳がん（再発巣の数が少ない乳がん）の治療の実際を明らかにして、今後の治療法の向上に役立てることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2005年1月1日から2012年12月31日の間に再発した希少転移乳がんの患者さん、北海道大学病院乳腺外科に通院、または入院して再発乳がんの治療を受けた方

○利用するカルテ情報

年齢、性別、病歴、診断名、治療歴、全身状態、再発後の治療内容、検査結果（血液検査、画像検査、生検）、合併症、治療経過

この研究は、FACO (ファコ) (アジア臨床腫瘍学会機構) という研究グループで日本、中国、韓国の乳がんの研究者が中心となって実施します。上記のカルテ情報は、データ解析のために、岐阜大学附属病院 先端医療・臨床研究推進センターに電子的配信で送付します。

[研究実施期間] 実施許可日～2020年6月30日（登録締切日：2019年1月31日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院乳腺外科 担当医師 山下 啓子

電話 011-706-7381 FAX 011-706-7384